



〒530-0043 大阪市北区天満1丁目6番8号 六甲天満ビル801
管理職ユニオン・関西 TEL(06)6881-0781 FAX(06)6881-0782

管理職ユニオン・関西の機関誌が本号で発刊300号となりました。発行継続を中心的に担ってくださっている北村さん（アパレル業界でデザインに従事されていた）に、記念の特別寄稿をお願いしました。



機関誌300号に想いを・・回想

機関誌編集委員(前執行委員長) 北村 庄司

いつの間にかもう300号発刊という節目を迎えました。単純計算で毎月発刊して25年、途切れずに良く出来たという感じです。

担当者としてやはり悩まされたのは、表紙の顔です。

表紙という位置付けはビジュアル面が重要で、伝えるべき顔が表現出来ているか、イメージの完成度がポイントになり、一般的に書店などで手に取ってもらえるかが分かれ目になるととても大事な部分です。

当初の機関誌はどちらかというとガリ版刷りの仕上がり感で活字が優先していて、現代の若者や一般的読書離れを踏まえ、視覚・感覚的な部分が必要と感じ、改変する必要性は時代が教えてくれました。

月刊誌のような存在感のある機関誌であれば、そこに置いてある事もチープでなくファッションブルになり、女性や若者にも雑誌感覚で取り上げてもらえると考えました。

色もモノクロ写真でビジネス風から始めて、多色にして明るさを出し、執行部の意見を聞き、改変を節目ごとに行いました。



表紙での特集見出し、次号の掲載予定など読者へ注意を引くための見出しは、労組の機関誌としては今までなかったもので、インパクトを与えたと思っています。

最新の機関誌は、郵送方法、活字離れ、コストも踏まえとてもシンプルにしました。

下記は代表的な表紙でそれぞれに理由付けをして作成しました。簡単ですが解説をさせて頂き、作成のプロセスを少しでも感じて頂ければと思います。



①

1) 様々な組合員の顔を思い出し『FACE』というタイトルを決めました。モノトーンの中に赤色でコンテンツを強調。背景画像はサラリーマンのツールをイメージしたものを作りました。寅さんみたいななんて、声もありました・・・(笑)

組合員を鼓舞する言葉も表紙に入れ、機関誌の内容を表紙で告知し始めました。



②

2) 個人的には一番好きであった機関誌表紙で、スマップの楽曲の世界に一つの花からイメージを広げ、花屋の花の中にイラストで色々の人の顔を作成、集まりの大事さと個性を表現しました。フルカラーで明るくより雑誌感覚を狙いました。この頃から、更に表紙は今月号での特集・報告の見出しを作り興味を惹くように作成しました。

裏表紙には次号での特集などの告知部分を作成し、次号への誘導を目的としました。次号、特集告知部分は仲村前書記長と題材に困り、悩まされました。今となれば楽しい思い出です。



②(裏)



③(現在)

3) コスト面、送付方法も変わり、全体的にページ数を削減方向となりました。ダイレクトな手紙を送るイラストで機関誌を送るイメージを作りました。懐古的な全体イメージで纏めました。



一時期は原稿が集まり過ぎて機関誌のページ数が増え、「分厚くて折りたたみへん。入れたら封筒が閉まらない！」という嬉しい悲鳴もあったとか。現在は原稿集めに若干苦勞する号もあり、羨ましい限りです。皆さん、寄稿してくださいね(長さや表現等は編集委員会で調整する場合があります)。
発行作業は第1土曜日の12時からです。感染対策しながら皆で楽しく作業をしています。こちらのお手伝いも大募集です!!



今年も集まろう！



5/1 13:30~
(日)

@ 中之島公園
剣先ひろば

管理職ユニオン・関西の旗(のぼり)を立てていますので、そこに結集してください。
自宅に腕章がある人は持参を。 コロナ(Covid-19)感染拡大状況次第で事務所で交流会も？

メーデーの起源は、1886年5月1日に合衆国カナダ職能労働組合連盟(後のアメリカ労働総同盟、AFL)が、シカゴを中心に8時間労働制要求(8-hour day movement)の統一ストライキを行ったことです。日本では、1905年(明治38年)平民社の主催で開かれた茶話会がメーデーの先駆けと言われています。どの国でも最初は非合法活動とされ、犠牲者・逮捕者を出しました(from Wikipedia)。

そのようにして文字通り労働者の血によって獲得された権利である1日8時間(以下)労働制が、こんにち奪われようとしています。労働組合員である私たちが黙ってはいけなないのです！

5月1日は皆で集まって、この大切な権利を再確認しましょう。



コミュニティユニオン関西ネットワーク

3/19 2022 春闘 御堂筋デモ 報告



生憎の雨でしたが、全体で約60名、MU関西+ゼネラル支部で約20名強の参加で、堀江公園~アメリカ村~御堂筋~難波まで、最賃upと反戦・平和を求める声を上げ、替え

歌を歌いながら元気にデモ行進しました。鳴り物と身に着けた黄色の布は沿道から大注目。

途中、宣伝カーがパトカーの誤導によってコースを外れるという前代未聞のハプニング(乗っていたMU関西書記長がパトカーに向かってマイクで「パトカーッ! どこ行くんですか~っ!?)と喚く)もありました♪ 久しぶりのリアル団結は最高でした♡



北越配送活動 続々報 〈賃上げ団交〉

2名は賃上げなし、2名 7,000 円

3月30日18時30分から梅・美木多文化会館で団体交渉を持ち、会社側は荷福代表、M部長、清王弁護士。組合側は仲村執行委員長、4名の組合員が出席しました。

この日の団交議題は、①賃上げの回答、②突然の担当エリアの配置転換についての説明と組合からの質問でした。

1. 賃上げについて

回答は、A氏、B氏は、賃上げなしの回答。S氏、T氏は7,000円の回答でした。Aはエリア長としての仕事はしているが部長としての仕事できていない。役員時代の給与のままなので今回は昇給はなし。Bさんは55才以上の昇給は運用上していないので昇給はなし。SさんとTさんは、昇給3,000円+その他4,000円の合計7,000円という回答でした。

組合としては、回答は納得いかないことを表明した後、昇給の実施が4月1日付けとすることを確認して、以下の点を会社に要求しました。

1、会社の回答は、賃金規則に基づく基本給なのか職務給なのかわからない。配分を明確にするように。2、昇給なしの松井・阪口組合員に対して再度昇給するように検討すること。3、現在の70才定年時代で55才以降は昇給無しの運用は認められない。そんな運用実態はないと組合員から聞いているので、まず運用実績を示すこと。4、組合としての要求である基本給5,000円+職務給5,000円の満額回答が出来ないのであれば、過去4～5年分の決算報告書、貸借対照表を組合に開示し、出せない理由を説明すること。

この日の確認として、組合からの上記4点の要求を会社が検討することとなりました。検討結果は、次回団体交渉4月20日(水)18時30分に回答することとなりました。その他、55才から昇給なしの運用の実績を開示せよとの議論の中で、荷福社長は個人情報と言っていたが、組合は、会社の言う運用が組合結成と今回の賃上げに向けての会社対応であると考えていると述べました。賃金の開示は当たり前で、個人情報の問題ではない。比較検討するうえで開示するように要求しました。

2. 担当エリアの配置転換は、異議申し立てをしたが業務命令には従うことに!!

現在の担当地区は、東北地区(1名)、関東地区(2名)、中部・東海地区(松井+2名)、北陸地区(佐藤)、甲信越地区(1名)、中国・四国(2名)、九州地区(2名)。これを、中部・東海地区のA以外の2名を、東北地区に1名、北陸・甲信越地区にエリア統合しS氏を外してここに1名としたものである。Aのもとに所属していた2名を他に異動させ、S氏をAのもとへの異動である。組合員2名を同じ担当エリアにして、Aのもとに所属していた非組合員2名をAから外したものである。組合員を意識した会社の露骨な対応である。

組合員 H. A

それぞれの職場で春闘 活動中！

■ 裁判/労働委員会

【大阪地裁】

Iさん〈山田コンサルティンググループ〉年俸再減額問題

Mさん〈リンク&モチベーション〉降格/減給の回復問題

【大阪府労委】

Kさん〈ダイカン今井ロジ〉団交拒否/不誠実団交（最終意見陳述）

Cさん〈セントラルメディエンス〉団交拒否

Yさん・Xさん〈日本フッソ工業〉団交拒否（命令待ち）

※日本フッソ工業分会の団交拒否は、別件で中労委再審査命令待ち

■ 団体交渉

Dさん〈松仁会〉は解決（退職条件整備）。Dさんの手記は次号掲載予定

Fさん〈サムティ〉は出向条件について団体交渉で詰めの段階

Gさん〈ワールドリンク〉…仕事外し、雇用関係には無い人物（役員の知人）を介した退職勧奨と、グループLINEによる社員相互の休憩時間監視問題について団交予定。春闘の会社訪問ツアー↓に組み込む可能性大です。

■ 統一要求エントリー

何名かの組合員から、前号の機関誌に同封した春闘統一要求&行動希望に問合せと回答がありました。現在会社と交渉中の人、しばらく組合活動から遠ざかっている人、状況はそれぞれです。

個別に打合せをして具体的な要求書を作成し、できれば日にちを決めてみんなで一緒に会社訪問ツアーをしたいと考えています。状況に合わせて、旗を立てて腕章して行くところもあれば、まずは新書記長の名刺交換からというソフト路線まで、硬軟取り混ぜて行動展開します。エントリーはまだ間に合います。希望者は連絡ください。

☆☆ Net 環境プロジェクト始動 ☆☆

執行委員の中で事務所のPC、Fax・プリンタ等の使い勝手とコストパフォーマンスを総合的に見直すプロジェクト チーム(P/T)が立ち上がりました。

短期的には、しょっちゅう不具合を起こす事務所機器類による作業ストレス軽減、長期的にはキチンと予算化した上でネットワークシステム全体を見直すことが目的です。今後皆さんと適宜情報共有していきます。

戦争犯罪人のロシア大統領・プーチンと 相棒の中国共産党の軍事侵略を許すな！

副執行委員長 稲岡 宣男

ロシアは、女性、子供、高齢者ら数百人が避難していた学校を爆撃するなどの蛮行を続け深刻な人道危機を招いている。ウクライナ国内外での避難民は一千万人を超え、約4人に1人が家を追われている。

プーチン政権による国際連合憲章を蹂躪した武力侵略、原子力発電所、病院、民間人への無差別な武力攻撃はジュネーブ条約等の国際人道法に反する重大な戦争犯罪である・核兵器大国を誇示して、核兵器の先制攻撃で世界各国を威嚇し続けている。

国際人道法は、戦争の性格に関わらず、どの国も守らなければならない条約である。現状は、無差別な軍事攻撃で多数の子供たちを含む民間人が犠牲になっている。核兵器の先制使用を公言したプーチン大統領。

上記に加え、核兵器使用の威嚇など、蛮行の限りを尽くしてウクライナへの武力攻撃・侵略を続けているロシア。さらに、ウクライナが生物・化学「BC兵器」を開発しているとの口実で、自らがBC（生物化学）兵器を使用する危険が高まっている。

当初ロシアは、ウクライナは核兵器を開発しロシアに脅威を与えていると主張していた。ウクライナは核保有国だったが、1991年にソビエト連邦からの独立するにあたり非核化を決定。1994年に、非核化「核兵器のロシアへの移転」に応じロシア・米国・英国の核兵器保有国がウクライナの安全を保障する「ブダペスト覚書」を結んでいる。

2014年のクリミア併合や今回の武力侵略は、ロシアによる「ブダペスト覚書」違反である。その上での核兵器開発疑惑の主張に国際原子力機関 IAEA も否定した。

次にロシアが持ち出したのがウクライナのBC兵器開発疑惑である。この問題で国際連合安全保障理事会が開かれた。侵攻作戦で“軍事生物計画”を発見したというロシアに対し、国連として(認識していないと)否定している。

アルバニアは、ウクライナ全土で即時停戦に合意し、疑惑のある地点の40km圏から全部隊を撤退し、専門家に調査させる必要があると主張した。

ロシアは自国がBC兵器を使用するために疑惑を拡散しているのではないかと多くの国が指摘している。それはロシアが化学兵器を使用した疑惑があるからである。

ロシアは2018年にイギリス南部ソールズベリーで、元ロシア情報部員とその娘さんを軍用の神経剤ノビチョクでの殺害未遂を起こした。さらに、2020年には「大統領プーチン最大の政敵」の反体制派指導者のナワリヌイ氏が同系の毒物で殺害されそうになった。

ソ連は世界最多の科学兵器保有国であった。ロシアが科学兵器開発などの軍事支援しているシリア・アサド政権は2013年以降、反政府派弾圧に塩素ガスなどの化学兵器を使用している。ロシアは国連などでこれを弁護している。

武力侵攻開始から1カ月。ロシアは南東部マウリポリで無差別攻撃を続け投降を要求したが、ウクライナは拒否した。

メーデーを前に考える「団結権」

～花畑牧場ベトナム人労働者 ストライキ報復事件から～

話題になった有名タレントの経営する企業での外国籍労働者による「ストライキ」。コミュニティユニオン全国ネットワークの仲間である札幌地域労組・ユニオンとかちの全面協力によって勝利和解となりました。

当該のベトナム人労働者たちが労働組合を結成せずにストライキを打ったため、今回の「スト」の主体は労組法上の労働組合ではなく、特定目的のために労働者が一時的に結集した「争議団」と解されます。このような争議団のスト行為が、そもそも法的保護を受けられるかと、手続の正当性が問題視されました。

しかし、これに対する答えが札幌地域労組の機関誌（3/23 発行号外 写真:右上）で明確に述べられています。以下引用します。

「ストライキは人類普遍の権利」

花畑牧場のベトナム人労働者は、労働組合を結成せずにストライキを決行しました。理想的には「労働組合だ」と一言でも言ってくれば、労働組合法によって活動が大きく保護されたのですが、それがなくとも、憲法28条でストライキを含む労働三権が保障されています。そして憲法がなかったとしても、約束を破った上に抗議の声を無視する会社と対等な関係を築くために、仕事の拒否は最も強い最後の手段であり、ストライキは人間が尊厳を守るための根源的な権利と言えます。

某大ナショナルセンターのトップがストライキについて非常に否定的な発言をするなど残念な風潮もありますが、労働組合員である私たちは、先人たちが闘い獲ってきたこの権利をさらに自覚的に大切に、堂々と行使したいものです。



■海外での搾取についても注意を払いましょう。ユニ○○に代表されるファストファッションの国外生産拠点とされたバングラデシュで、劣悪な労働条件・就労環境の改善のために立ち上がった労働者たちの姿を追ったヒューマンドラマが公開されます。なかまユニオンからご紹介頂いたチラシを同封しますので、ぜひ映画館に足を運んでください。



組合費の引落しをゆうちょ銀行でされている皆さんへ

本年4月からシステムが切り替わります。皆さん側で手続きをして頂くことはありませんが、予備日（15日）が無くなりますので、毎月5日までには必ず口座残高を確認してください。



組合員交流会/映画上映会

映画を
観よう！

「パッドマン 5億人の女性を救った男」

製作年 2018 年、製作国インド、時間 137 分、監督 R・バールキ

配給：ソニー・ピクチャーズエンタテインメント

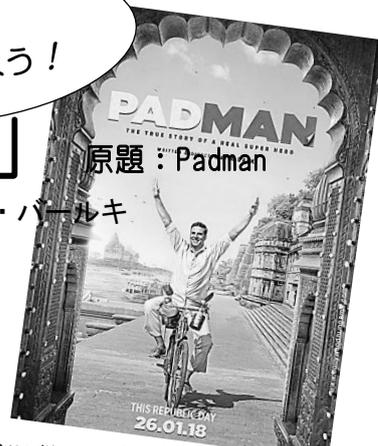
日時：4月15日（金）19時から2時間20分

場所：管理職ユニオン・関西事務所

〈解説・あらすじ〉

現代でも女性の地位が低いインド（2021年のジェンダーギャップ指数ランク：140位、日本は120位）。愛する妻のために安全で安価な生理用品の普及に奔走した男性の実話を映画化したもの。

偏見の残る小さな村で村人たちから奇異な目を向けられ、数々の誤解や困難に直面しながら生理用品の研究とリサーチに明け暮れるラクシュミは、協力者も得てついに低コストで大量生産できる製造機の発明に成功。農村の女性たちに、ナプキンだけでなくその製造機を使って働く機会も与えようと奮闘しますが…。



「お花見のついでに足を延ばして…」と事務所に立ち寄ってくださる組合員が♡ 嬉しいサプライズです。

